

平成 29 年 5 月 29 日

総合政策部 総合政策課

TEL 0742-34-4786

教育委員会 教育総務部 文化財課

TEL 0742-34-5369

旧奈良監獄見学会の実施について

1.目的

旧奈良監獄の建物は、明治政府が建設した「五大監獄」(千葉、長崎、鹿児島、金沢、奈良)のうち唯一完存する貴重な遺構として、平成 29 年 2 月 23 日に重要文化財に指定されました。

法務省では、平成 29 年 3 月 31 日をもって奈良少年刑務所を閉鎖し、旧奈良監獄の保存・活用事業を実施しています。今後、同施設が担ってきた役割と、日本の行刑・矯正の歴史を伝える史料館を整備する予定です。奈良市としても、旧奈良監獄の公開・活用は、奈良に新たな魅力を加えるものであり、文化遺産を活かしたまちづくりの大きな力になると考えています。

事業は秋以降本格化する予定ですが、明治以来刑務所として使われ続けてきた現在のありのままの姿を多くの市民に公開することは、文化財としての保存・活用と今後のまちづくりに取り組む上で非常に大きな意義があると考え、見学会を行うことといたします。

2.実施日 平成 29 年 7 月 16 日(日)

3.場所 旧奈良監獄 (奈良市般若寺町 18 番地)

4.主催 奈良市、奈良市教育委員会、法務省

5.後援 奈良県

6.協力 NPO法人なら・観光ボランティアガイドの会
旧鍋屋連絡所の保存活用と“奈良きたまち”のまちづくりを考える会

7.内容

見学指定区域(庁舎・中央監視所・舎房・工場・教室など)を見学していただきます。

矯正展の見学会では入れなかった区域も見学していただく予定です。(別図)

①市内中高生(教員含む)限定見学会(午前)

1 回目 午前 10 時～ 2 回目 午前 11 時～

定員は各回 50 名とし、事前申込み制とします。(市内在住・在勤・在学の中高生及びその

教員であれば申込み可)

各回とも開始 10 分前までに表門周辺に各自で集合してください。

法務省からの特別授業と記念品があります。

②自由見学会(午後)

1 回目 午後 1 時～ 2 回目 午後 2 時～ 3 回目 午後 4 時～

自由に見学していただきます。要所にガイドを配置します。

事前申込み不要ですが、各回 200 名程度を予定しております。

③ガイド付き見学会(午後)

午後 3 時～ 開始 10 分前までに表門周辺に集合してください。

定員は 100 名とし、事前申込み制とします。

25 人程度を 1 グループとしてガイドに引率してもらいます。

④講演会(午後)

午後 2 時～(約 60 分) 講演会場(体育館)に直接集合してください。

定員は 200 名とし、事前申込み制とします。

講演テーマ及び講師

「赤れんがの監獄が物語る明治の近代化」 京都工芸繊維大学石田潤一郎教授

「(仮)今後の保存・活用について」 法務省担当者

8.参加費 無料

9.アクセス方法

「近鉄奈良駅」または「JR奈良駅」から、

「青山住宅行き」または「州見台八丁目行き」バスに乗車

般若寺バス停で下車し、徒歩 3 分

会場には駐車場を準備していませんので、公共交通機関での来場をお願いします。

10.申込み

「①市内中高生(教員含む)限定見学会」と「③ガイド付き見学会」及び「④講演会」は、

6 月 1 日(木)から 6 月 30 日(金)まで事前申込みを受け付けます。

申込み方法は、

メール・FAX・往復はがき(6 月 1 日より郵便料金が改定されますのでご注意ください)に必要事項(参加希望プログラム①・③・④ 住所・氏名・年齢・電話番号)を明記のうえ、奈良市教育委員会文化財課まで。

メール bunkazai@city.nara.lg.jp

FAX 0742-34-4859

往復はがき 〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目 1-1

各プログラムとも申し込み多数の場合は、抽選とします。

抽選の有無に関わらず、参加通知をお送りします。(落選の場合も通知します。)

11.その他

- ・当日の午前8時において、奈良県北部に気象警報が発令されているときは中止とさせていただきます。
- ・7月15日(土)には、法務省主催で近隣住民を対象とした見学会と、NPO 法人 Jヘリテージ主催で定員 100 名の見学会が開催されます。

当日のタイムテーブル

7月16日(日)	事前申込み不要	事前申込み必要
	無料	無料
午前10時～		①市内中高生限定見学会 (1回目)
午前11時～		①市内中高生限定見学会 (2回目)
午後1時～	②自由見学会 (1回目)	
午後2時～	②自由見学会 (2回目)	④講演会
午後3時～		③ガイド付き見学会
午後4時～	②自由見学会 (3回目)	

唯一完存。

明治五大監獄のひとつ

重要文化財

旧奈良監獄

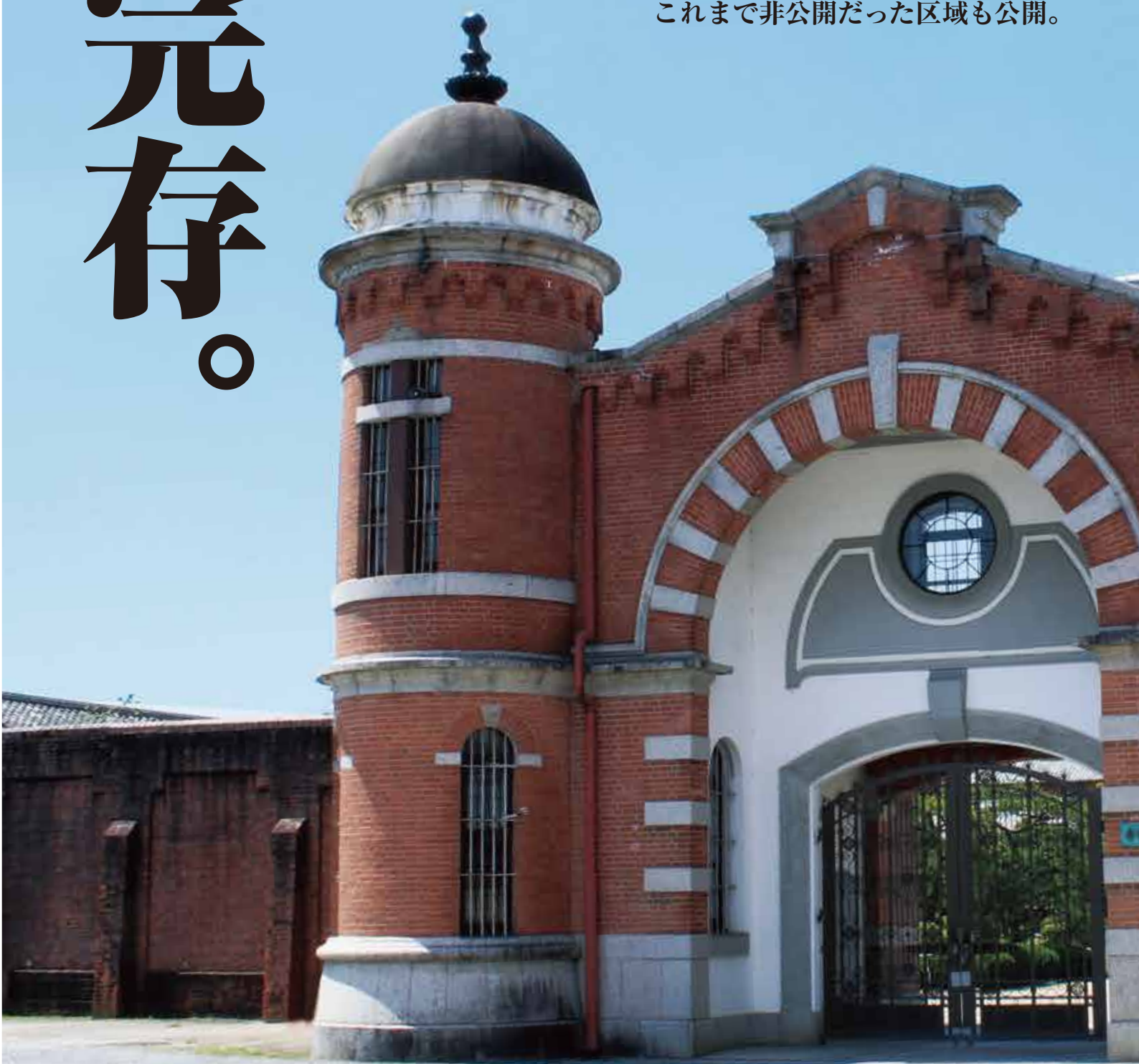
閉庁後、初の一般公開

7月16日(日)

1908年の完成から

109年目の今年、重要文化財に。

これまで非公開だった区域も公開。





明治政府が1908年に建設したれんが造りの建物、旧奈良監獄。明治の「五大監獄*」のうち、完存するのは奈良だけです。政府は、1910年の日英博覧会（ロンドン）に建物の模型を出展し、監獄施設の近代化を西欧社会にアピールしています。今では、日本の近代化の一側面を示す貴重な文化遺産として、重要文化財に指定されています。

今回は、庁舎、中央監視舎、舎房、工場、教室等を公開します。矯正展で未公開の区域も公開予定です。

*五大監獄…奈良の他には千葉、長崎、鹿児島、金沢

①市内中高生限定見学会 1回目 午前10時～
(法務省の特別授業と記念品付) 2回目 午前11時～

- ◆定員は各回50人、1グループ25人程度としてガイドが引率します。
- ◆各回とも開始10分前までに表門周辺に集合してください。
- ◆事前申込制(市内在住・在学の中高生、市内在勤の教員も対象)

②自由見学会 1回目 午後1時～
2回目 午後2時～
3回目 午後4時～

- ◆定員各回200人程度、要所にガイドを配置。
- ◆事前申込は不要です。

③ガイド付き見学会 午後3時～

- ◆定員100人、事前申込制
- ◆開始10分前までに表門周辺に集合してください。

④講演会 午後2時～

「赤れんがの監獄が語る明治の近代化」
(講演者：京都工芸繊維大学 石田潤一郎 教授)

「(仮)今後の保存・活用について」
(講演者：法務省担当者)

- ◆定員200人、講演時間は約60分を予定。
- ◆講演会場(体育館)に集合してください。

【講師：石田潤一郎氏】



1952年鹿児島市生まれ。京都大学工学部建築学科卒業、同大学院博士後期課程修了。滋賀県立大学助教授等を経て、2001年から京都工芸繊維大学教授。工学博士。旧奈良監獄には2011年の調査から関わり、現在、保存活用事業事業者選定委員を務める。

【主催】奈良市、奈良市教育委員会、法務省 【後援】奈良県
【協力】NPO法人なら・観光ボランティアガイドの会
旧鍋屋連絡所の保存活用と”奈良きたまち”のまちづくりを考える会

重要文化財 旧奈良監獄 見学会

7月16日(日)

【事前申込について】

①③④は事前申込制です。メール、FAX又は往復はがき(6月1日の料金改定により124円)に参加希望プログラム名、住所、氏名、年齢、電話番号を記入の上、下記の送付先まで。

6月30日(金) 必着

※申込多数の場合、抽選とします。
※抽選の有無に関わらず参加通知を送付します。(落選の場合も通知)

<送付先> 奈良市教育委員会文化財課
〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目1-1
メール：bunkazai@city.nara.lg.jp

FAX：0742-34-4859

【アクセス】

近鉄奈良駅またはJR奈良駅から、「青山住宅行き」または「州見台八丁目行き」バスに乗り、「般若寺」バス停で下車し、徒歩3分。
※会場専用の駐車場はありませんので、公共交通機関でのご来場をお願いします。



※当日の午前8時に、奈良県北部に気象警報が発令されているときは、中止します。

【問合せ】奈良市教育委員会文化財課
TEL 0742-34-5369